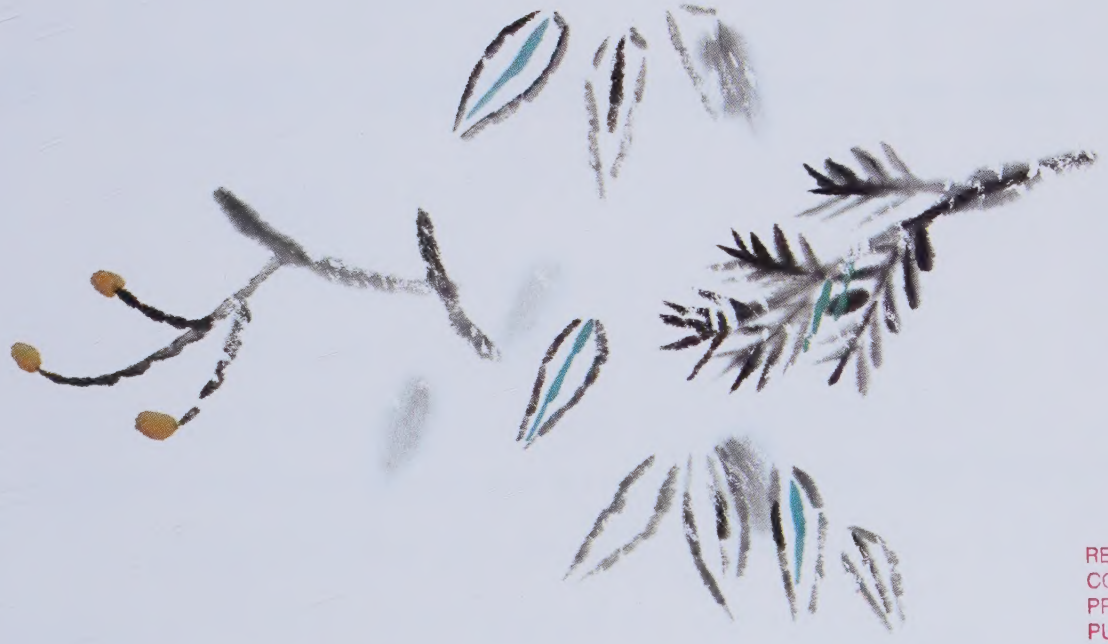
つるにょうぼう

矢川澄子 再話　赤羽末吉 画

REMOVED FROM
COLLECTION OF
PRINCE WILLIAM
PUBLIC LIBRARY

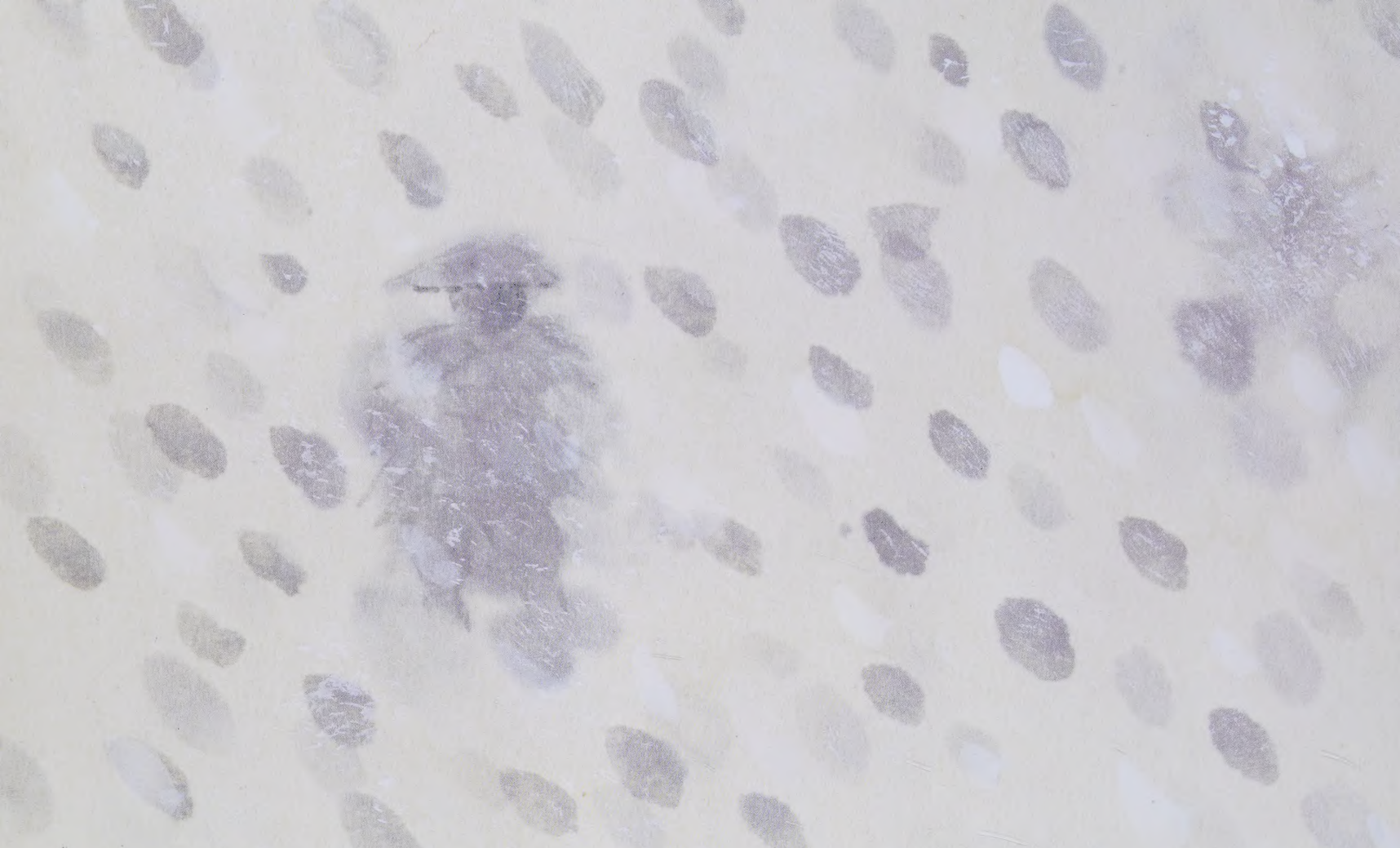
つるにょうぼう

矢川澄子 再話　赤羽末吉 画



REMOVED FROM
COLLECTION OF
PRINCE WILLIAM
PUBLIC LIBRARY

福音館書店



雪ふかい山里のはなしです。

よ平という、まずしいひとり暮しの若者がありました。

冬のはじめのある日、よ平が、雪の中を用足しにでて、帰りをいそいでいますと、ふいにばさばさという音がして、どこからか、一羽の鶴がまいおりてきました。

見れば、つばさに矢をうけて、くるしそうにしています。

よ平は近づいていって、矢をひきぬき、ていねいに介抱してやりました。

その夜おそく、よ平の家の戸を、ほとほととたたくものがあります。

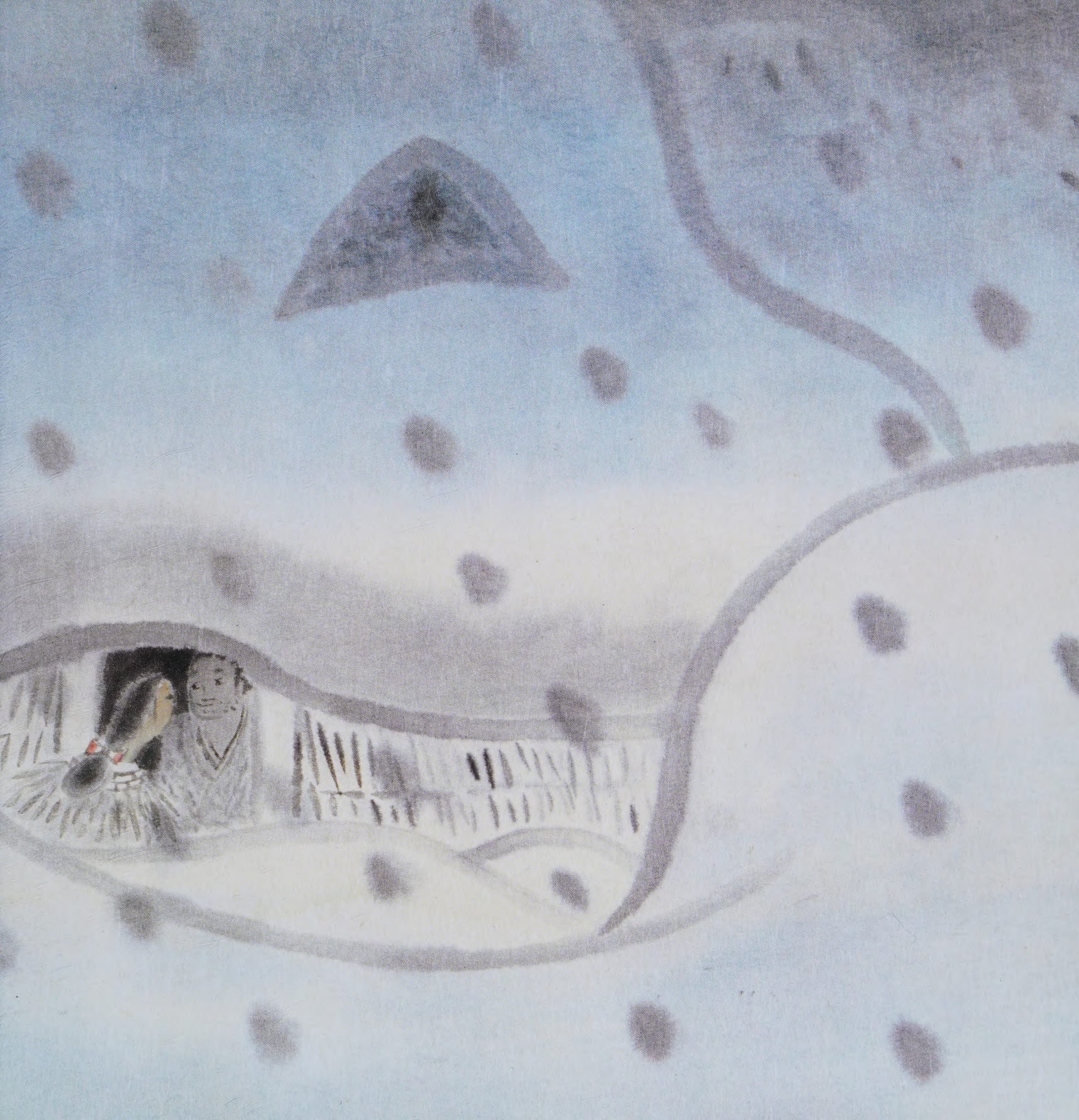
ふしぎに思って戸をあけてみると、目のまえに、ひとりの美しいむすめがたっていました。

「女房にしてくださいまし」

たえいるような、あえかな声でした。

よ平は耳をうたがいました。見れば見るほど品よく、美しいおなごでした。

よ平はそっと手をさしのべ、むすめをなかへひきいれました。



「よ平のところへ、やさしいよめさんがきたそうな」

村人たちはうわさしあいました。

むすめはつつましく、よく仕えてくれました。

さびしく、さむざむとしたひとり者の家も、見ちがえるように

あかるく、あたたかくなりました。

よ平には、すぎたしあわせでした。

けれども、もともとまずしかったところへ、口がふえたのです。

冬のこととて、かせぎもなく、たくわえはみるみる底をつきはじめました。

すると、むすめがいいだしました。

「おなごははたを織るもの。わたしにも、ひとつ織らせてくださいまし」

奥の間に、はたのしたくができますと、
むすめは、さかいの障子をたて、くれぐれも
よ平にたのみました。
「わたしの織っているうちは、けして
のぞき見なさいませんように」
むすめは三日三晩、とんからとんから、
のまずくわずで織りつづけていましたが、
四日めにようやく、やつれたすがたで
あらわれると、だまって一反の織物を
さしだしました。
これはまた、なんという上等の布地でしょうか。
織物のことはとんとわからぬよ平も、その
しっとりとふくよかな美しさには、ただただ
目をみはるばかりでした。

よ平は、織物をもって、町へでかけてゆきました。
織物はたいそういい値がつき、ふたりはそのお金で、
しばらくはたのしくすごしました。

けれども、冬はまだまだつづき、お金ものこり少なになりました。

よ平はいいだしかねて、だまっていましたが、とうとうむすめがいいだしてくれました。

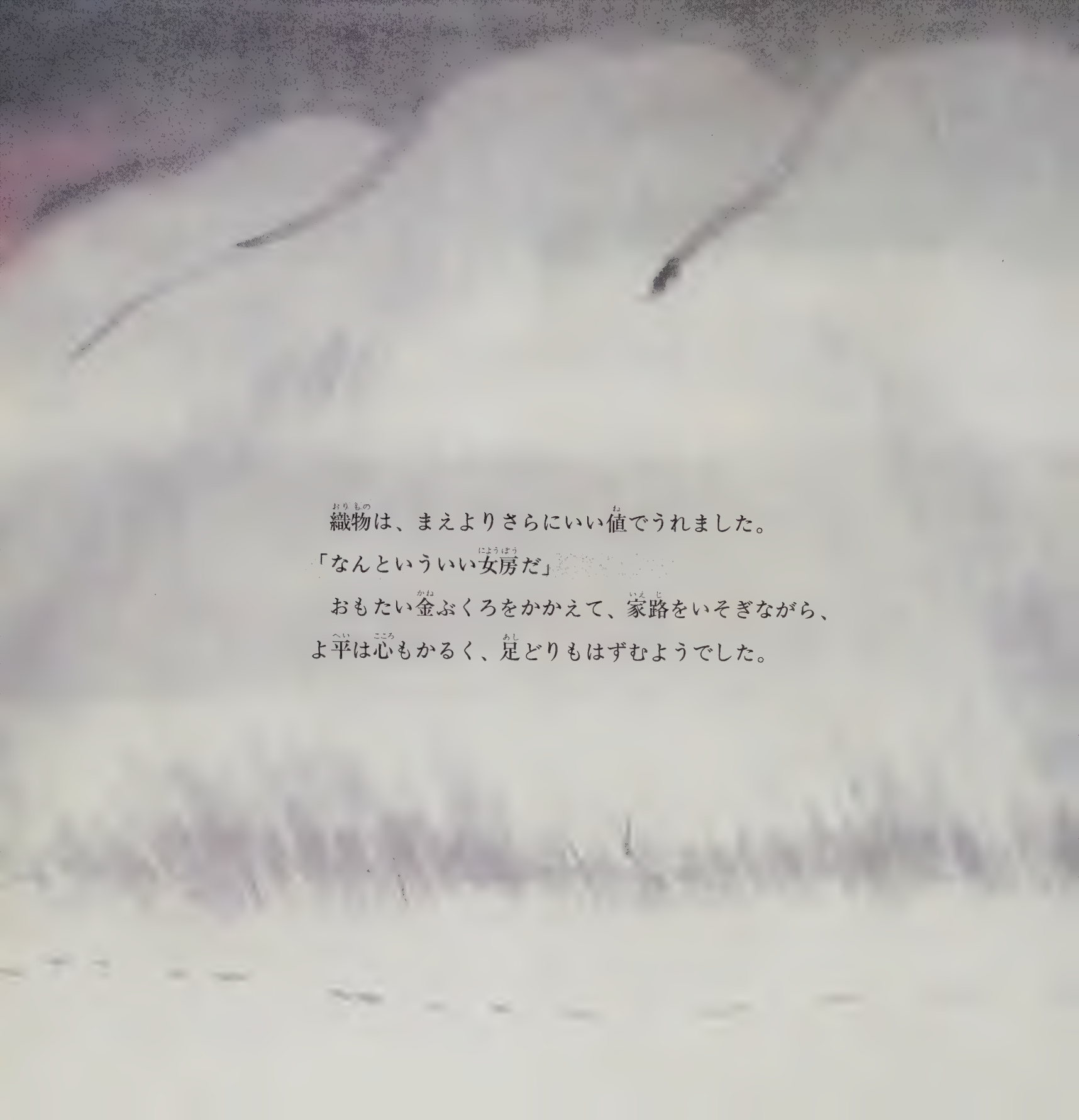
「もう一どだけ、はたを織りましょう。でももう、これっきりにしてくださいまし」

よ平はまた、のぞくなといわれ、ぼんやりまっていました。

こんどは、四日四晩かかりました。

ふたたび反物を手にしてあらわれた
むすめは、まえよりもっとやつれた、
いたいたしいふぜいでした。

布地はさらに美しく、やわらかく、
ほのかなかがやきをおびてさえ見えました。



織物は、まえよりさらにいい値でうれました。

「なんといういい女房だ」

おもたい金ぶくろをかかえて、家路をいそぎながら、

よ平は心もかるく、足どりもはずむようでした。

となりの男が、雪のなかをたずねてきました。
よ平の暮しが、むかしより裕福らしいと見てとって、
それとなくようすをさぐりにきたのでした。
よ平は、きかれるままに、女房の織る布が
いい値になることを、ものがたりました。
となりの男は、くびをかしげました。
「はて、どんな糸をつかいなさる。うちの女房の織る
もめんでは、とてもそのような値にはならんが。
そんなふしぎな布ならば、都のお大尽のところへ
もってゆけば、その十倍にも、百倍にもうれるはず。
どうだ、わしが口ききをつとめよう。もうけは
山分け。一生、左うちわよ」

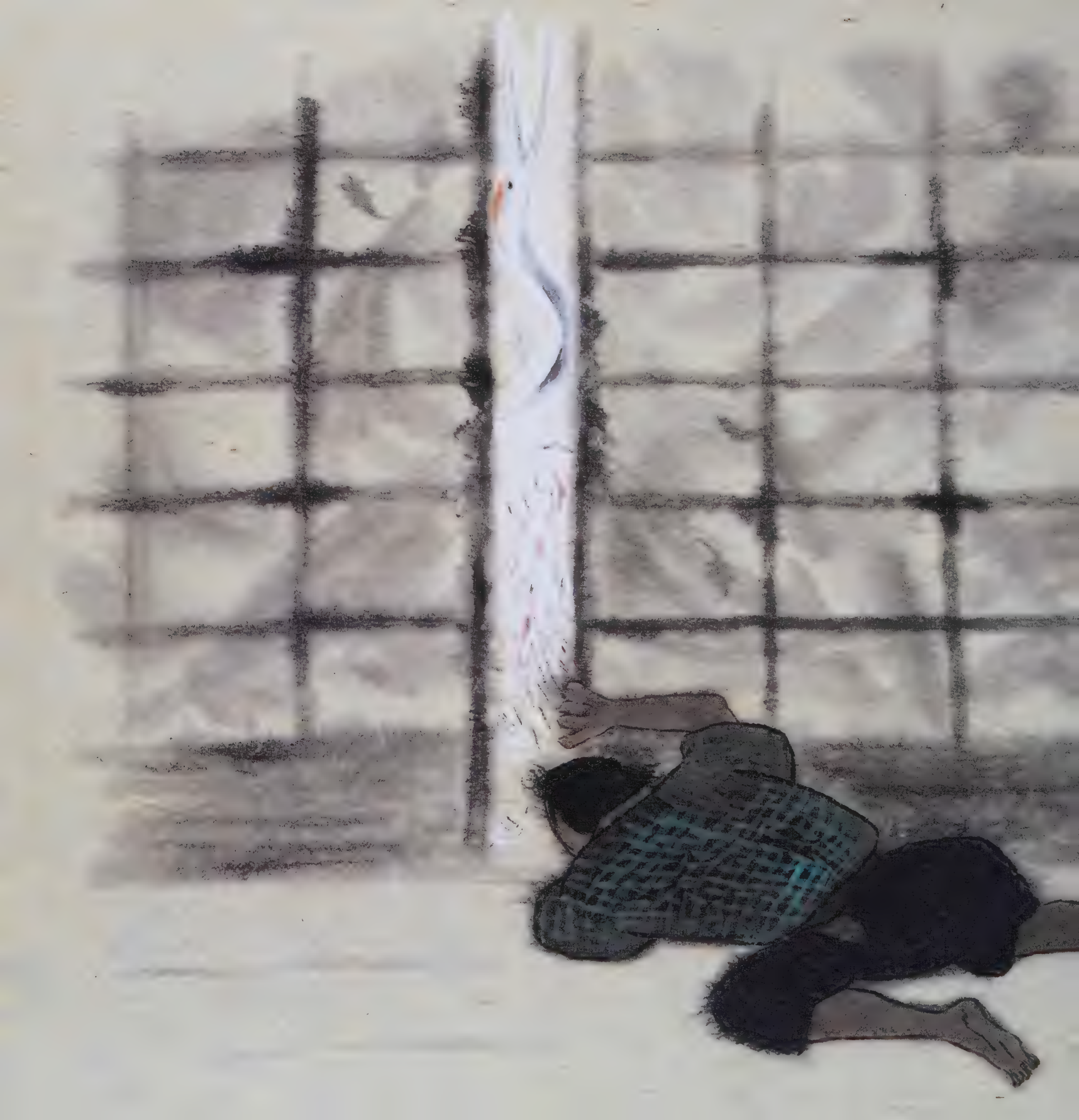
よ平の目のまえに、山吹いろの大判小判が、
まぶしくちらつきはじめました。
もうこれっきり、とはいわれたものの、そこを
まげて織ってさえもらえれば、またとない
しあわせがつかめるのでした。

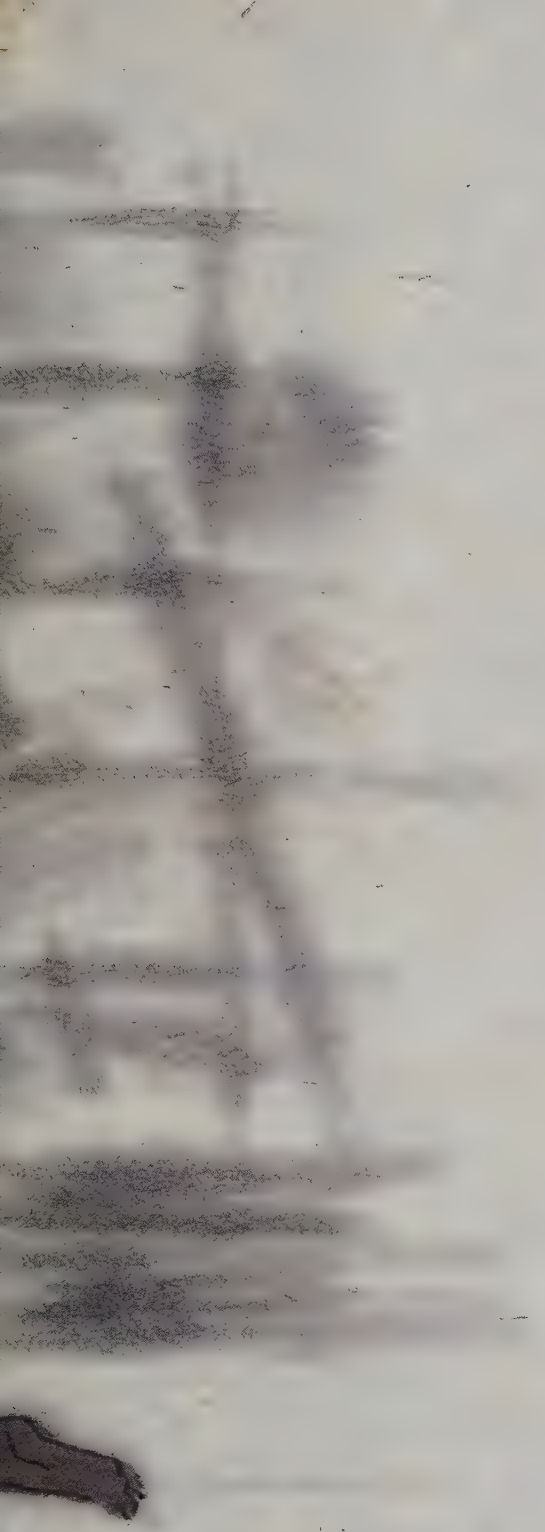
はなしをきいて、むすめは
いぶかしげに問いかえしました。
「なんでそんなにお金がいります」
「金はいくらあっても、
こまることはない。すきなものは
買えるし、商売の元手にもなろう」
「ふたりして暮らせさえすれば、
十分ですのに」
いわれて、よ平もいったんは
だまりました。けれども、
それからというものは、ねても
さめてもお金のことばかり。
そんなよ平を、むすめは
つらそうに、なみだをうかべて
見まもっていましたが、
見かねてある日、
とうとううなずきました。

「それでは、いまひとつ、
織ってしんぜましょう。ほんとに、
二どとふたたび織れませんけれど」
　よろこぶよ平に、むすめはまた
念をおしました。
「ごしょうですから、けして、
のぞかずに」

よ平は、もみ手をしながら
まちつづけました。
とんから、とんから。
これでもう五日め。奥の間のしごとは、
まえよりもっとひまがかかりそうです。
はたを織るたびに、むすめがひどく
やつれるのが思いだされました。
奥ではいったい、なにがおこなわれて
いるのやら。糸も仕入れずに、どうして
あんなに美しいものが仕上がるのやら。

まち遠しさとのぞき見たさが
いっしょになって、よ平は、ついに
障子に手をかけました。





「あ」

なかで声がしたのと、よ平が思わずさけんで身をひいたのと、いっしょでした。

よ平の見たものは、人間ではありませんでした。一羽の鶴が、血にまみれ、じぶんの羽をくちばしでひきぬいては、はたにかけているのでした。

よ平は、そのばにたおれ、それっきり気をうしなってしまいました。

気がつくと、よ平の手に、
一反の織物がのこされていました。
まばゆいまでにまっしろな白妙の地は、
かすかな紅のいろさえしのばせて、
この世ならぬひかりにかがやいて
いました。

どこからか、やさしいなつかしい
声がささやきかけていました。
「あれほどおねがいしましたものを、
見苦しいすがたをお目にかけました
からには、このうえ人間の世界に
とどまってはいられません。

わたしはいつぞや、雪の道で
たすけていただいた鶴。あなたの
おやさしい心がしたわしく、
それだけをたよりに、おそばに
うかがったのでした。どうぞ
末長く、おしあわせに」

「おうい」

よ平は、ころぶようにおもてへとびだしました。

春ちかい、はるかな山なみの上を、小さな鶴が一羽、
かなたをさしてとびさってゆくのが見えたばかりでした。

著者紹介

矢川澄子（やがわ　すみこ）東京に生まれました。東京大学文学部美学美術史学科中退。現在、著述・翻訳に従事しています。主な著書には、詩集「ことばの国のアリス」(現代思潮社)、小説集「架空の庭」(大和書房)、「私のメルヘン散歩」(新潮社)、「静かな終末」(筑摩書房)、訳書には「暦物語」(ブレヒト、現代思潮社)、「トンデモネズミ大活躍」(ギャリコ、岩波書店)、「ハイジ」(シュピーリ、福音館書店)、「風の妖精たち」(モーガン、岩波書店)、絵本「ぞうのババール」(ブリュノフ、評論社)、「おばけリンゴ」(ヤーノシュ、福音館書店)、「わにくん」(シュレーダー、偕成社) などがあります。長野県在住。

赤羽末吉（あかば　すえきち）1910年、東京に生まれました。1959年、日本童画会展で茂田井賞受賞。1962年、「日本の神話と伝説」で小学館児童出版文化賞佳作賞。1965年、「ももたろう」(福音館書店)、「白いりゅう黒いりゅう」(岩波書店)で、それぞれサンケイ児童出版文化賞。1973年、「源平絵巻・衣川の館」(講談社)で講談社出版文化賞。1975年、「ほうまん池のカッパ」(銀河社)で小学館絵画賞と国際アンデルセン賞特別賞。1975年、「スーホの白い馬」(福音館書店)でブルックリン美術館絵本賞を受賞しました。ほかに「かちかちやま」「うまかたやまんば」「みるなのくら」(福音館書店)、「源平絵巻物語〈全十巻〉」「絵本よもやま話」(偕成社) などがある。

TSURU-NYOBO · The Crane Wife
retold by Sumiko Yagawa © 1979
illustrated by Suekichi Akaba © 1979
originally published in Japan 1979 by
Fukuinkan-Shoten, Publishers, Inc., Tokyo. *Printed in Japan*

つるにょうぼう　矢川澄子 再話　赤羽末吉 画　　NDC 913　32p　26×25cm

発行所　**福音館書店**　113 東京都文京区本駒込6－6－3　　1979年10月25日発行　1992年11月10日　第17刷
電話　営業部 (03)3942－1226／編集部 (03)3942－9265　　印刷　精興社／製本　多田製本

●乱丁・落丁本は、ご面倒ですが小社宛ご送付ください。送料小社負担にてお取り替えいたします。　Printed in Japan
ISBN4-8340-0757-X

FL

E JA Yag
Yagawa, Sumiko.
Tsurunyobo : [The crane
wife]

NW

REMOVED FROM
COLLECTION OF
PRINCE WILLIAM
PUBLIC LIBRARY

日本傑作絵本シリーズ
読んであげるなら　5才から
じぶんで読むなら　小学中級むき

福音館書店　定価1,150円(本体1,117円)
ISBN4-8340-0757-X C8795 P1150E

P8-BJG-775